

平成28年度 決算報告

【歳出】

性質別にみると、人件費は、職員数の減少などに伴い1億1,130万1千円の減額となりました。扶助費は、子供の数の減少により保育所入所者数が減り保育事業の委託料が減少した一方で、臨時福祉給付金事業の取組みや子ども医療費助成事業の拡充などにより3,324万1千円の増額となりました。公債費は、年間地方債発行額を制限していることから、9,062万5千円の減額となりました。

普通建設事業費は、南条こども園の整備事業が前年度に終了しましたが、防災行政無線整備事業や超高速通信環境整備事業、今庄駅大規模改修事業などの大型事業を実施したことにより、2億8,424万5千円の増額となりました。

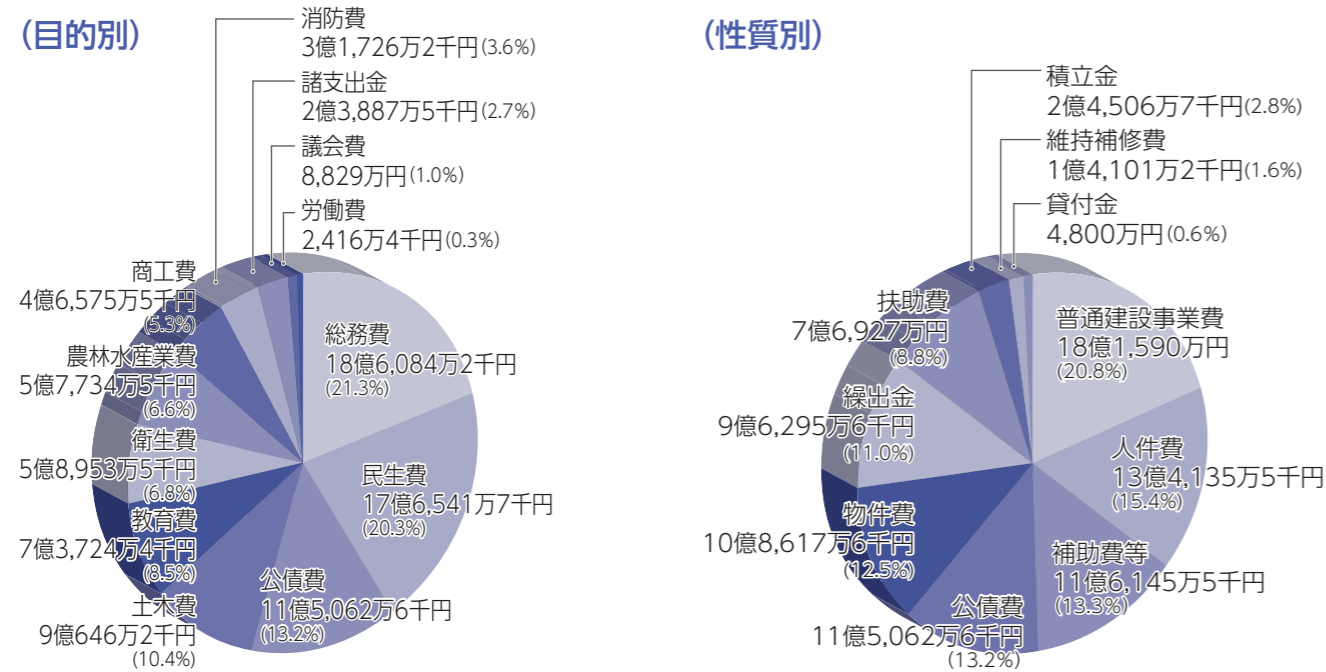
維持補修費は、施設や整備の老朽化による修繕に加え、降雪による除雪作業の増などにより1,861万3千円の増となりました。

積立金は、前年度余剰金の一部を積み増したことにより、5,711万3千円の増額となりました。

物件費は、スキー場の民営化委託、プレミアム商品券・ふるさと旅行券の完了等により、2,315万2千円の減額となりました。

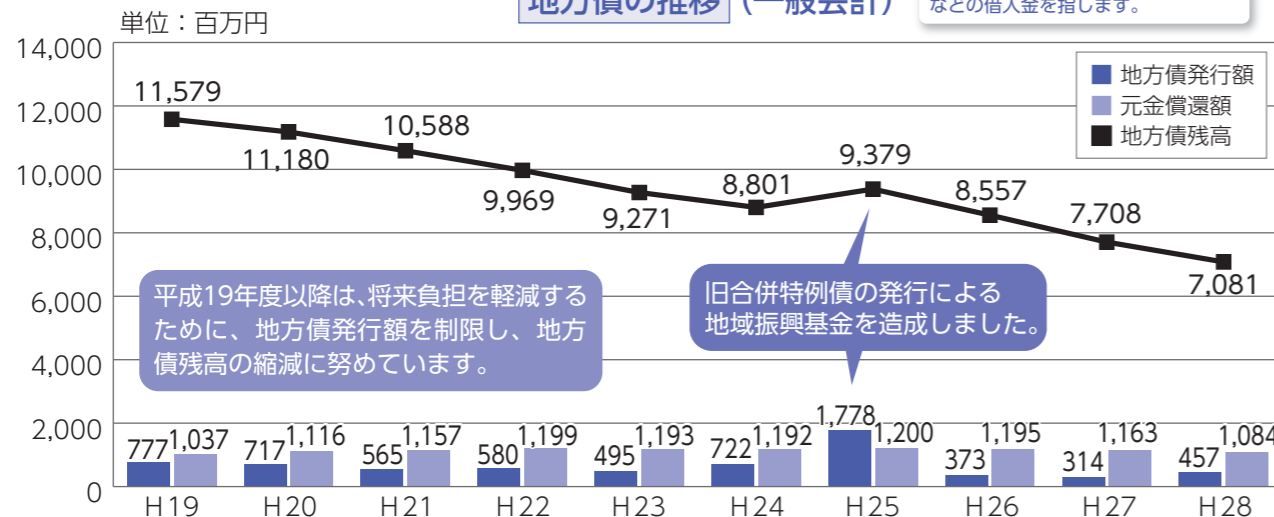
補助費等は、新ごみ処理施設の整備に伴う周辺環境整備補助金の新規取組みがありましたが、農地集積協力金の減少や水道事業会計の経営改善により一般会計からの補助金が減少したことなどにより、3,808万6千円の減額となりました。

一般会計 歳出 87億2,181万7千円



地方債の推移 (一般会計)

地方債とは、一般家庭でいう住宅ローンなどの借入金を指します。



12月議会定例会で、平成28年度の一般会計および11の特別会計および1の企業会計の歳入歳出決算が認定されました。一般会計の決算は、歳入91億7,922万1千円、歳出87億2,181万7千円、歳入歳出差引総額は4億5,740万4千円で、翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は、3億7,529万2千円となりました。

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	12億7,825万1千円	12億7,715万3千円
国民健康保険今庄診療所	2億4,845万9千円	2億4,754万4千円
河野診療所	1億912万7千円	1億844万8千円
個別排水処理施設	1,064万1千円	1,054万5千円
農業者労働災害共済	285万円	223万9千円
後期高齢者医療	1億3,303万3千円	1億3,291万9千円
農業集落排水	3億1,709万2千円	3億1,648万9千円
老人保健施設	1億6,894万2千円	1億6,816万9千円
介護保険	13億6,067万1千円	13億4,654万円
ケーブルテレビ	1億1,699万8千円	1億1,699万8千円
下水道	2億4,731万7千円	2億4,710万1千円

企業会計 水道事業

収益的収支 (水道料等での収支)	収入額		支出額	
	収入額	支出額	収入額	支出額
	4億4,921万2千円	4億4,866万2千円		
資本的収支 (企業債償還金支出)	収入額		支出額	
	—	—	—	1億5,548万9千円

【歳入】

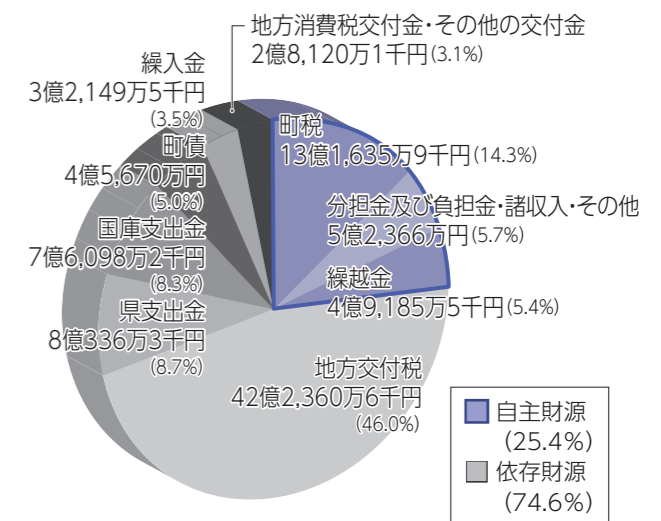
一般財源である町税は、前年度比1,551万7千円の減額、地方交付税は、1億3,822万3千円の減額となりました。

国庫支出金は、地方創生事業への取組みによる地方創生加速化事業(鉄道遺産を活用したまちづくり)、今庄宿プロジェクト事業による大規模事業の実施、太陽光発電設備の設置事業(再生可能エネルギー等導入推進事業)に取り組み、国庫支出金は8,712万2千円、県支出金は4,202万9千円、それぞれ増額となりました。

繰入金は、防災行政無線整備事業の基金を取り崩したものの、前年度の南条こども園整備分が減額となり、2億8,817万7千円の減額となりました。

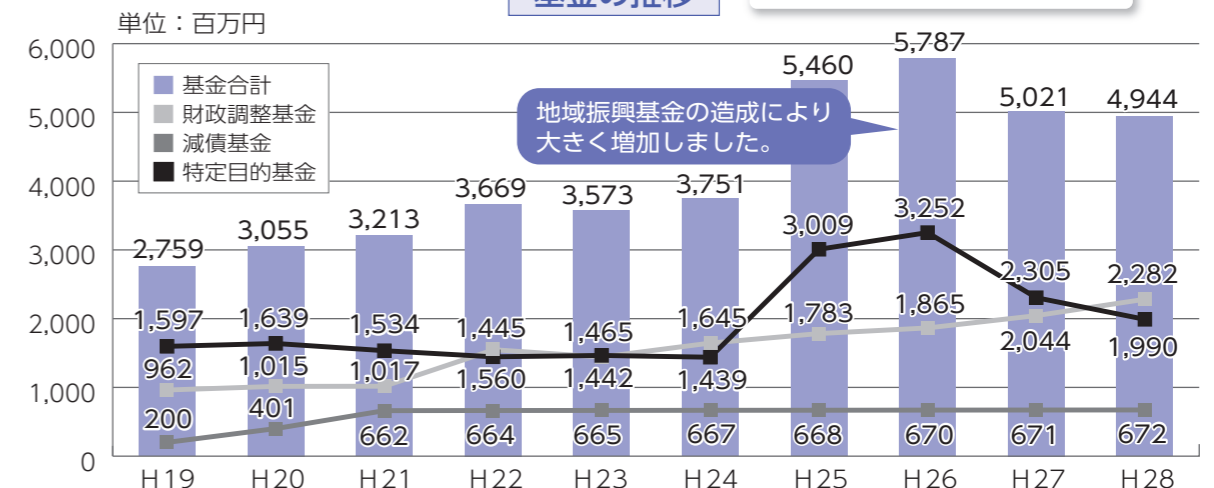
地方債では、臨時財政対策債の発行は見合わせたものの、今庄住民センター整備事業や上平吹橋橋梁架替事業、今庄駅大規模改修事業など大型事業を推進したため、前年度比1億3,120万円の増額となりました。

一般会計 歳入 91億7,922万1千円



基金の推移

基金とは、一般家庭でいう預貯金を指します。



問合せ 総務課 Tel 47-8012